

市長マニフェスト（市政ビジョン）

2年目、3年目の取組状況及び4年目の取組計画

令和4年度から令和5年度までの取組状況及び令和6年度の取組計画を以下のとおり報告します。

1. コロナ対策

確実に迅速な新型コロナウイルス対策

●基本的なコロナ対策を速やかに実施します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>1 確実なワクチン接種体制を医療機関の皆さんと連携して構築します。</p>	<p>1 個別接種体制を確保し、関係医療機関と連携を図り、ワクチン接種を促進 接種率：R5.12時点 春夏接種率 23.3% 秋冬接種率 21.1%</p>	<p>1 予防接種法のB類疾病に位置付けられるため、令和6年度以降は高齢者等を対象に定期接種として促進します</p>
<p>2 感染症対策、経済政策、生活困窮者対策などを一元的に検討する「コロナ対策専門チーム」を設置します。</p>	<p>2 感染症対策、経済政策、生活困窮者対策等必要な情報をコロナボードによりまとめて市民に発信 令和5年5月8日に感染症法上の位置付けが5類に移行</p>	<p>2 特例臨時接種が令和5年度末で終了することからコロナ対策専門チームは解散しますが、感染症対策など関連情報は、引き続きわかりやすく発信します</p>
<p>3 在任期間中の市長給与・賞与を減額し、自ら先頭に立つ姿勢を表明するとともに、コロナ対策の財源確保につとめます。</p>	<p>3 市長の給与及び期末手当を令和3年7月から令和5年6月まで20%、令和5年7月から令和6年6月まで10%それぞれ削減し、コロナ対策の財源に充当</p>	<p>3 財政対策の一環として、引き続き市長の給与及び期末手当を削減し、財源に充当します</p>

●コロナで疲弊する企業への経済支援を行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>4 観光・飲食・流通業をはじめさまざまな業種にわたる影響を把握した上で、県や国と連携して、域内経済への刺激策を実施します。</p>	<p>4 国の交付金事業を活用したプレミアム付商品券事業等による経済支援対策を実施 農林水産物の販売としてインターネットを通じた動画配信での商品紹介や物販（ライブコマース）を開催し、新たな市場への展開を実施</p>	<p>4 「日置市商工会プレミアム付商品券キバレ！ひおき応援券事業（第5弾）」を実施して域内の経済支援を行います 引き続き、ライブコマースを実施し、新たな市場への展開を図ります</p>
<p>5 観光の再開やコロナ後の社会を見据え、情報発信やサービス向上の面で先行的な投資を行います。</p>	<p>5 令和4年8月にInstagramを開設し、SNSを活用した日置市の地域情報やイベント情報などの魅力を定期的に発信するとともに、ひおきとブログでも情報を発信</p>	<p>5 引き続き、ひおきとブログやInstagramなど様々なSNSを活用した日置市の地域情報やイベント情報などの魅力を定期的に発信します</p>

●コロナの影響を受けた住民個人への支援を行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>6 コロナ観点での失業者の早期就業を支援します。</p>	<p>6 誘致企業の求人情報をお知らせ版やひおきとブログに掲載するなど情報を発信 異業種交流懇話会と連携し、採用に関するセミナーを開催</p>	<p>6 事務系企業の誘致や市内企業と求職者との面談会等の開催により、企業人材確保に向けた取り組みを支援します</p>
<p>7 児童扶養手当・就学援助費受給者への支援を強化します。</p>	<p>7 物価高騰に直面する低所得の子育て親世帯に対し、特別給付金を支給 <R4実績> 694人 <R5見込> 1,437人</p>	<p>7 物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対し、特別給付金を支給します</p>

●地域での支援体制をつくります。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>8 年をとっても住み慣れた自宅で過ごす「地域包括ケア」を民生委員・地域包括支援センター・介護事業者・医療機関の連携で強化します。</p>	<p>8 地域包括ケアシステム構築に向けた全庁横断的な体制として「オールひおきで市民の暮らしを考える庁内連携会議」を設置 庁内連携会議で担い手不足に関する課題を検討するとともに、各事業の連動を行いながら支援事業を推進</p>	<p>8 第9期介護保険事業計画に基づきながら、地域包括ケアシステムの更なる深化や重層的支援体制を整備することにより、地域共生社会の実現を図ります</p>
<p>9 民間企業と連携して、移動式スーパーなど高齢者世帯の買い物環境、移動支援について公民連携で取り組みます。</p>	<p>9 地区公民館と民間事業者が連携して行う移動販売事業を支援 令和5年度からは、乗合タクシーの運行エリアを拡大するとともに、出前講座を実施して利用方法を周知</p>	<p>9 乗合タクシーの利便性向上のため、乗車予約及び配車方法の見直しを行います また、医療機関等と連携して乗合タクシーの周知に取り組むことで利用拡大を図ります</p>

●健康に年を重ねられる日置市をめざします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>10 特定健診やがん検診の受診率向上に取り組みます。</p>	<p>10 健診の土日開催やインターネットやコールセンターでの予約受付により受診しやすい環境を整備 介護予防健診では、オンラインWEB会議システムを活用した体操などデジタル技術を活用し新たな取り組みを実施</p>	<p>10 デジタル技術を活用した未受診者の分析を行い、健康意識に合わせた受診勧奨を実施します 健康アプリによる受診勧奨や健康づくりの情報提供をプッシュ通知で行います</p>
<p>11 グラウンドゴルフや筋ちゃん広場など集いの場を維持・拡大します。</p>	<p>11 グラウンドゴルフの道具を持っていない人でも楽しめるよう各地域で道具の貸し出しを実施 筋ちゃん広場は、7広場の新たな立ち上げを支援し、122自治会で実施 令和5年10月に約300人の住民の参加を得て「筋ちゃんサミット」を開催</p>	<p>11 引き続きグラウンドゴルフ道具の貸し出しを実施します 筋ちゃん広場の各広場への個別支援やリーダー集会の実施により継続支援や地域の実情に応じた立ち上げを支援します</p>
<p>12 働く意欲をもったご年配の方々のため市内企業などにおける高齢者雇用の後押しする支援メニューをつくります。</p>	<p>12 お知らせ版でシルバー人材センターの会員募集記事を掲載</p>	<p>12 引き続きお知らせ版でのシルバー人材センターの会員募集記事を掲載するとともに市内企業のシニア世代の活用意向を把握し、市民に情報提供します</p>

●障害を持つ方やLGBTQなど性的少数者の皆さんにとって暮らしやすい環境をつくります。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>13 障害者就労施設などへの発注や調達を強化します。</p>	<p>13 各地域自治会長連絡協議会や地区公民館支援委員会等で発注等に係る周知説明を行い、自治会文書発送の回覧でも周知を実施 ・発注額：R4実績 3,020,366円</p>	<p>13 自治会長連絡協議会や地区公民館支援委員会等で発注等に係る周知説明のほか、市役所本庁舎1階ロビーでの販売や障がい者週間等で物品紹介の展示ブースを設置して啓発活動を行います</p>
<p>14 市立施設や公共施設のバリアフリー化を推進します。</p>	<p>14 本庁舎1階、4階多機能トイレ（多目的シート、ベビーチェア新設）の改修や本庁舎東側出入口のスライドドア化 東市来支所市民ホールの段差解消や2階多機能トイレにユニバーサルシート及びオストメイトを設置</p>	<p>14 本庁舎障がい者駐車場から本庁舎への屋根設置を検討するため設計委託を行います 湯之元地区バリアフリー基本構想の策定や湯之元駅のバリアフリー化工事に係る関係機関との協議を行います</p>
<p>15 学校現場や社会教育における性的少数者に対する啓発活動を行います。</p>	<p>15 人権研修や男女共同参画講座、LGBTQ+を知る基礎セミナーを実施 パートナーシップ宣誓制度の検討に関し、パブリックコメントを実施して、広く市民の意見を伺いながら「日置市パートナーシップ宣誓制度」を令和5年10月1日から施行</p>	<p>15 学校職員や市職員向けの人権研修等の実施や広報ひおき及び男女共同参画センターだよりへの「性の多様性」関連記事を掲載など啓発活動を実施します</p>

●子育て世代の不安に寄り添う体制をつくります。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
16 妊娠・出産・子育ての相談窓口を1本化、利用しやすくします。	16 ひおき子育て応援ナビ等により相談窓口や母子手帳交付、母子健診等を周知 支援が必要な事例について関係する各課の連携を図り、情報共有や対応を組織的に実施	16 子育て応援アプリのリニューアルにより情報発信の充実や育児相談母子手帳交付等のDX化を推進します (仮称)日置市こども家庭センターを設置し、妊産婦、子育て世帯、子どもの一体的な相談支援を実施します
17 地域ごとの待機児童を把握し保育所の定員確保と保育園情報の発信を行います。	17 市内22保育所等の紹介動画を作成し、市ホームページで保育所を紹介するとともに、受入状況を掲載し、保育所選びのための情報発信を充実	17 保育所等の定員確保のため、保育所等と保育の需給状況の共有等情報連携を図ります 保育所等の紹介動画や受入状況を市ホームページで掲載し、保育所選びのための情報発信の充実を図ります 新規認定保育所設置により、定員確保を図ります
18 保育士募集の情報発信と有資格者の再就職支援窓口をつくります。	18 令和5年9月に日置市保育のおしごと支援センターを開設し、潜在保育士や保育補助者など保育人材に対する無料職業紹介を実施 (R5.12時点 登録24人、就職10人)	18 SNS等の活用により日置市保育のおしごと支援センターを広く周知し、引き続き保育人材に対する無料職業紹介を実施します 保育士養成校の学生等と市内保育施設との交流イベントを実施します
19 ファミリーサポートセンターのような地域で子育てを支援しあう仕組みをつくります。	19 子育て短期支援事業の夜間養護等(トワイライトステイ)事業を実施 ショートステイ 9か所 トワイライトステイ 9か所	19 引き続き子育て短期支援事業の夜間養護等(トワイライトステイ)事業を実施するとともに、子育て世帯訪問支援事業(家事支援、育児支援)について検討します ファミリー・サポート・センター事業について、令和7年度開始を目標に検討を進めます

●一歩踏み込んだサポートを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
20 子育て世代やシングルマザー/ファザーの就業支援を行います。	20 入所申込状況や未就学児人口等を踏まえ、令和5年度から保育要件を緩和 保育所等の紹介動画を作成し、情報発信	20 新規認定保育所の設置により保育の定員確保を図ります
21 福祉と教育の連携を通じてニーズに応じた療育児童支援と特別支援教育の推進を図ります。	21 市教育支援委員会を中心に幼保小連携部会を開催し、関係機関と入学生の情報交換や事例研究など連携を図った。 令和5年8月に福祉課、健康保険課、学校教育課、こども未来課が連携し、子育て講演会を開催して保護者同士の語りの場を設定	21 幼保小連携部会で関係課と次年度就学児の情報共有を図り、様々なケースに対応できるよう事例研究を行います 関係課が連携して子育て講演会を開催し、保護者同士の語りの場をつくります

●子育て世代の地域活動の負担を減らします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
22 PTAや育成会活動など子育て世帯が担う地域活動の負担を軽減し、地域全体で子どもを見守る仕組み、学校を支える仕組みをつくります。	22 誰もが参加しやすいPTA活動の在り方について、アンケートを実施し、PTA活動の在り方についての協議を実施	22 PTA等各種団体が開催する研修会や講義等でDX化に向けた研修を行い、負担軽減を支援します

●地域とともに子どもの教育に取り組みます。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>23 小学生・中学生・高校生による「日置市若者未来会議」を創設し、児童・生徒が未来に対して提言し実現する仕組みをつくります。</p>	<p>23 子ども議会の体験を通じて、主権者意識を高め、郷土を愛する心を育む取組を実施 市内企業と連携して若者が日置市や自身の未来を模索することで、若い世代の想いを引き出し、理想とする未来実現のための一歩を踏み出すための場として若者未来会議を開催</p>	<p>23 小学校高学年及び中学生を対象に、子ども議会を開催し、主権者意識を高め、郷土を愛する心を育みます 引き続き若者未来会議を開催し、若い世代の想いを引き出し、若者が理想とする未来実現のための一歩を踏み出すための場をつくります</p>
<p>24 PTA、先生方、児童・生徒、地域の皆さんで教育環境を語り、学校のビジョンやプログラムを描く場を作るとともに、教育を地域で支える環境づくりを行います。</p>	<p>24 コミュニティ・スクール協議会で先進校の取組紹介や、課題点の共通理解を図り、改善に向けて運営方針等について確認を実施 各学校では、地域住民の学校運営協議会への参画により学校運営を地域で支える環境づくりを実施</p>	<p>24 学校運営協議会への児童生徒の参画などの工夫を行い、魅力ある学校づくりに取り組みます</p>

●地域を超えた幅広い教育機会をつくります。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>25 変化の時代を生き抜く教育のため、教育現場にICTを導入します。</p>	<p>25 ICT活用推進計画に基づき、各学校における校内研修を充実。日常的に授業でのタブレット端末の活用を実施 ・ICT担当者研修会：年3回実施 吹上地域の3小学校（永吉、花田、和田）をICT推進校に指定してリモートでの交流を推進</p>	<p>25 諸学力検査に不可欠な学習eポータル（まなびポケット）の活用を推進するための研修会等を充実します 各学校の実態に応じたICT支援員の派遣を行い、各学校でのICT活用を推進します</p>
<p>26 日置市外へ進学する高校生・大学生・専門学校生に対する奨学金制度を拡充し、「外で学び、中で活かす」仕組みとして、日置市独自の奨学金貸付制度を充実・強化します。</p>	<p>26 奨学生の採用基準の学業成績の評定平均値を5段階概ね4.5以上から概ね4.0以上に見直し奨学金制度を拡充</p>	<p>26 大学奨学生の採用拡大を実施します</p>

●市民がスポーツや文化に親しむ機会を増やします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>27 2023年の国体・全国障害者スポーツ大会を市民みんなで盛り上げるとともに、市民が日常的にスポーツを楽しめる環境づくりを行います。</p>	<p>27 SNSや市中央公民館のブース設置等で情報発信するとともに、伊集院駅連絡通路への市内園児のアート作品の掲示や競技会場への市内小中学生の手作りのぼり旗や応援幕、ボランティアが育てた花プランターの設置を行い、オールひおきでおもてなしを実施 小中学生の学校観戦・応援を実施</p>	<p>27 「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツに親しんでもらうために、体育施設にスポーツ用品を年次的に整備し、貸し出しを行います</p>
<p>28 地域の文化芸術を、市内外の人が楽しめる仕組みづくりを行います。</p>	<p>28 文化芸術に親しむ機会として市総合文化祭や各地域文化祭をはじめ、伊集院文化会館及び東市来文化交流センター自主文化事業を実施するとともに令和5年度は、全国高等学校総文祭（日本音楽部門）の開催を支援</p>	<p>28 引き続き市総合文化祭や文化施設自主事業により文化芸術に親しむ機会を創出します 吹上歴史民俗資料館で黒川洞穴企画展を開催し、日置市の歴史に触れる機会を創出します</p>

5.産業活性化

変化の時代を生き抜く産業が育つ日置市

●旧4町の魅力を活かした経済循環と積極的な事業展開を促進します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
29 市内での調達・消費・受発注などの経済循環を高め、地元中小企業・個人事業主が地元で活躍できる環境づくりを強化します。	29 工事等の分割発注や業者選定時における市内業者への配慮等、受注機会の確保を実施 ＜市内業者からの調達割合＞ ・1,293件/1,978件 65.4% (R4)	29 工事等の分割発注や業者選定時における市内業者への配慮等、受注機会の確保に努めます
30 商工会・観光協会・金融機関などと連携し、商品開発やPRを推進します。	30 令和5年度に第1回「ひおき特産品コンクール」を実施し、16事業者25商品から5商品の金賞を選定。バイヤーを招待し、日置市の特産品のPRを実施するとともに、入賞商品の広報ひおきやTJカゴシマへの掲載やPR動画の作成・配信より販路拡大の取組を実施	30 引き続き特産品コンクールを開催し、商品開発を促進するとともに、参加バイヤーの拡充を図り、販路拡大に繋がります
31 公共事業の施工時期平準化を推進します。	31 工事の発注にあたり、契約締結日から工期の始期日までの間に「余裕期間」を設定 ・取組実績：R4 29件、 R5.11時点 28件	31 余裕期間制度を適用した工事を増やし、発注時期が偏らないよう早期発注に努めます

●農業・茶業・畜産業・水産業・林業と、加工・製造業の支援を強化します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
32 トップセールスなど大消費地での販路開拓やブランド化を推進します。	32 薩摩川内市や阿久根市と連携し薩摩國輸出促進協議会を組織して、台湾やマカオでのトップセールスを実施 「ひおき特産品コンクール」での入賞商品を市長の出張等での土産品に活用して訪問先でのPRを実施	32 鹿児島県貿易協会に加入し、市内事業者に対して国内外で開催される商談会等への案内や支援を行い、市内事業者の輸出への関心を深める機会を増やします
33 ネット販売やPRに関する専門家派遣などの支援を実施します。	33 中小企業が抱える不安や課題を解決するため、中小企業者向け専門家派遣窓口を設置 R4実績 派遣13回 鹿児島県よろず支援拠点と連携して定期相談会を実施し、2年間で31件の相談対応を支援	33 県内中小企業の総合的な支援機関である「かごしま産業支援センター」を市内企業が積極的に活用できるよう広報等により支援します 鹿児島県よろず支援拠点と連携し、定期相談会を本庁・各支所で開催します
34 デジタル対応などの推進による省力化を支援します。	34 いちごでの紫外光 (UV-B) 照射によるハダニ類とうどん粉病抑制実証やオーリーブ栽培管理に関するデジタル動画の作成・配信を実施 農業分野の働き手の確保のため、一日農業バイト「デイワーク」の活用を推進	34 研究会組織等とともに先進技術の導入に取り組み、単収技術の向上に向けた実証事業や省力化技術の確立を目指します オーリーブ栽培管理に関するデジタル動画活用を促進し、栽培技術の省力化を支援します
35 特産品・商品開発や直売所・物産館での産地地消をさらに推進します。	35 オーリーブオイルを使った商品開発（鯛のづけ、オーリーブ茶、ドレッシングオイル等）や畜産青年部や茶業青年部等の販売促進会を支援 新商品開発や販路拡大のため「ひおき特産品コンクール」を開催	35 ひおき特産品コンクールを実施し、新たな特産品の商品開発を促すとともに市内外に周知して地産地消を推進します 江口浜エリアの活用について、民間主導型の土地有効活用を進め、地産地消を推進します
36 グリーンツーリズム、ブルーツーリズムなど体験型観光を拡大します。	36 市内観光団体及び事業者と観光振興連絡協議会を開催し、「観光戦略5本の柱」を決定。体験観光を「アウトドア&体験観光「ひおきでごほうびチルアウト」>と定め日置市の強みを発信 オーリーブ収穫体験を実施するとともにグリーンツーリズム受入態勢整備のための農家民泊募集を実施	36 グリーンツーリズム受入体制整備のため講習会を実施して、新たな受入農家の掘り起こしを図ります オーリーブ収穫体験を実施するとともに、他市と連携したグリーンツーリズムの推進を行います 森林を活用したアドベンチャーツーリズムの検討を進めます
37 林業を里山景観の保全と産業支援の両面から支援します。	37 森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度により経営管理が行われていない森林について、意欲と能力のある林業経営者へ委託することで林業担い手を支援	37 引き続き森林環境譲与税を活用し、森林の適正管理及び林業担い手支援を行います

●観光関連産業の連携で地域の観光力アップをめざします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の実績状況	令和6年度の実績計画
38 宿泊、温泉、飲食など各種観光施設の連携を促進し、市内外の誘客を図るとともに、メディアを活用した広域でのPRを推進します。	38 観光団体や事業者と観光振興連絡協議会を開催して「観光戦略5本の柱」を策定し、SNSを活用してウェブメディアひおきやInstagramで観光情報の定期発信を実施	38 引き続き関係事業者等との連携のため、観光振興連絡協議会を開催し、連携を促進します ひおきやInstagramでの観光情報の定期発信を行います
39 地域の魅力や資源を磨きあい体験型観光メニューの開発を推進します。	39 「アウトドア観光 & 体験観光」と「伝統工芸 & アート観光」を観光戦略5本の柱に位置付け、観光情報の収集や情報発信を実施	39 観光戦略5本の柱に基づき、観光情報の収集・発信を引き続き行うとともに、体験型観光の充実を図るため、「企画提案型イベント支援」「前向き支援」を実施します
40 スポーツ施設を活用した大会や合宿を誘致、団体利用を促進します。	40 大会及びスポーツ合宿等の誘致を支援するため、5人以上で2泊以上宿泊した場合に補助金を交付 ・R4実績利用回数：142回 ・延べ宿泊者数：9,170人	40 市全体のスポーツツーリズムの推進体制を確立するため、地域おこし協力隊導入による施設利用促進協会の組織強化の支援を行います
41 伝統芸能・工芸、歴史資産の観光プログラム化を推進します。	41 観光戦略5本の柱「伝統工芸 & アート観光「クラフトで楽しむ ひおき西海岸」」に基づき、伝統芸能等を含めた観光情報の発信を実施	41 美山地区をモデル地区に定めて、地域が主体となった戦略的な誘客促進、伝統技術と文化の継承、受入環境整備等を図ります

●担い手や後継者と企業を結ぶプログラムを実施します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の実績状況	令和6年度の実績計画
42 日置市の企業と日置市で働きたい人を結ぶサポート体制で、あらゆる産業における担い手・就業者・後継者の育成や採用を支援します。	42 市内企業の魅力説明会や高校生のための合同企業セミナー、異業種交流懇話会と吹上高校との交流会、連携中枢都市圏4市合同企業面談会を実施 WEBメディアひおきへの企業紹介記事を掲載	42 引き続き市内企業と連携し、企業の魅力説明会や高校生のための合同企業説明会、異業種交流懇話会と吹上高校との交流会などを実施します 雇用を希望する企業の紹介につながる「ひおきと仕事図鑑」の掲載頻度を増やします

●急速に変化する時代に対応したデジタル化などの取り組みを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の実績状況	令和6年度の実績計画
43 新規創業や企業の新規事業開発を支援する体制をつくります。	43 市商工会と連携・協力し、創業支援希望者に対する創業セミナーや経営ノウハウ習得のための創業塾を実施（R4受講25人、R5受講23人） かごしま産業支援センターの実施する各種事業を商工会と連携し周知	43 県内中小企業の総合的な支援を行う「かごしま産業支援センター」の各種事業を商工会と連携して周知し、市内企業の積極的な活用を支援します
44 リモートワーク時代における都市部から地方へのオフィス移転ニーズをとらえクリエイティブ産業など企業誘致・新産業誘致を図ります。	44 サテライトオフィス整備支援のための補助金制度を創設し、市内のLR株式会社による旧日吉小学校を活用したワーク&コミュニティ施設「日nova（ひびのば）」の開設を支援	44 サテライトオフィス運営企業と連携し、IT関連企業やクリエイターなどの誘致に取り組みます
45 鹿児島市との近さ、豊かな自然環境、利便性の高い交通インフラを活かし、UIターンを促進します。	45 UIターンの入り口となる関係人口を創出するため「ひおきプロジェクト」による市内の情報発信やICTを活用したメタバース上での交流「ネオ日置計画」を促進 市内5か所にお試し住宅を整備 お試し住宅延べ利用者数：R4 454人	45 しごと、住居、子育て環境を効果的にPRし、UIターンを促進します

6. オール日置

住む人、通う人、関わる人と共に描く次の日置市

●さまざまな結びつきの「オール日置」のネットワークを強化します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
46 ふるさと納税や企業版ふるさと納税などを通じて、日置を愛する多様な人の想いや力を結集させる取り組みを強化します。	46 ふるさと納税の返礼品の拡充を図るため、返礼品拡充対応設備の整備を補助金により支援 ガバメントクラウドファンディングを3件実施 企業版ふるさと納税寄附企業（100万円以上）に生ごみ回収事業でつくれたたい肥「よかんど」で育ったさつまいもの収穫体験を実施	46 引き続きガバメントクラウドファンディングの取組を検討・実施します ふるさと納税や企業版ふるさと納税の周知を継続して取り組みます
47 企業の域外進出を県外や海外在住の日置出身者と連携して推進します。	47 ひおきカメカメ団周知を企業や東京での企業立地懇話会（県主催）で実施。メルマガによる日置市の催事などを発信し、オンラインを活用した関係づくりを実施	47 県外で実施される物産展や商談会の出展に係る出展小間料や旅費等の一部を補助金で支援するとともに、出展情報をカメカメ団へメールマガジンで情報発信します
48 児童生徒の部活動や就職など多様な挑戦を出身者と連携して支援します。	48 中学校の部活動では、地域の外部指導者に協力を得て生徒の技術向上、健全育成の取組を実施 ・中学校部活動の外部指導者：31人	48 部活動の地域移行も視野に、学校における地域人材の新たな関わり方を検討します 市内学校の県外大会等への参加情報をひおきとメールマガジン等で発信し、児童生徒の挑戦を応援します
49 域外に居住する家主さんと連携し空き家の利用推進を図ります。	49 空き家活用の後押しとなる空き家改修や家財道具処分事業を実施 中古物件買い取り大手の株式会社カチタスと協定を締結し、相談体制等を充実 R5空き家バンク登録 51件 カチタス市内引き渡し実績 13件	49 空き家関連事業の周知や連携する企業等の情報を発信し、空き家の利活用を推進します

●日置市在住の外国人の皆さんのネットワークを市政に活かします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
50 コロナ後のインバウンド強化に向けて、外国人の皆さんと一緒に情報発信できる仕掛けを構築します。	50 国際交流員公式Instagramでの日本語と外国語による日置市の情報発信やインフルエンサー共同によるSNS配信事業（TiktokおよびInstagram）を実施	50 引き続き国際交流員による情報発信およびインフルエンサー共同によるマレーシアに向けた情報発信をSNSを活用して行います ムスリムフレンドリー（イスラム教を信仰する方に対し、できる範囲で配慮・対応をする取組）を推進します
51 多文化共生社会の実現に向けて、域内在住外国人の皆さんそれぞれの活躍を後押しします。	51 マレーシアの学生と日置市の中学生によるオンライン交流授業やはがき交換事業を実施し、身近に多文化共生について考える機会を提供 「日本語サポーター養成講座」を実施 多文化共生についての「おしゃべりカフェ」を2年続けて実施	51 外国人向けの防災等の案内チラシを作成し、市内居住の外国人の方へ配布します また、在住外国人のための多文化共生講座（防災や生活ルールなど）の定期開催や、地域の方との交流イベント等を実施して多文化共生社会への取り組みを推進します

●国・県と連携して交通アクセスの整備に取り組みます。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
52 美山インターの双方向化や伊作トンネル建設推進など幹線ルートの整備を図り、訪れる・関わる人の利便性を向上させます。	52 谷山伊作線改良整備・トンネル建設期成会での要望活動や意見交換を実施	52 南九州西回り自動車道の伊集院美山間の4車線化についてNEXCO西日本と協力して推進します 谷山伊作線の現道線形改良やトンネル建設について引き続き鹿児島県と調整を行います

●「農業を通じて自然環境を守る」取り組みを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>53 食の安全・景観保全・農地保全など農業の持つ多様な効果を活かし中山間地域の農業を通じて地域の景観保全に取り組みます。</p>	<p>53 多面的機能支払交付金事業及び中山間地域等直接支払交付金事業において、地域組織による農地保全活動や景観保全活動を支援 ため池保全活動や地域貢献に関心のある民間企業の活動への参画を促した（R4:8社、R5:8社）</p>	<p>53 広域活動組織での集落の枠組みを超えての保安全管理活動体制の構築について地域組織と意見交換を行います 地域貢献に関心のある企業等に共同活動への参画を促す取り組みを促進します</p>
<p>54 農地保全のため農地の集約、集落営農などを支援します。</p>	<p>54 農地中間管理事業により、担い手への農地集積と集約化を進めるとともに、県や地域との連携のもと生産コストの削減を図る農地の大区画化等の基盤整備の推進（R5：田代地区、下与倉地区の事業着手）</p>	<p>54 引き続き県や地域との連携のもと農業農村整備を着実に実施することで、農地の集積・集約を推進します 10年後を見据えた地域農業の在り方を示すため、地域計画を各地域で協議し、策定します</p>
<p>55 里山の保全と河川の整備を軸に水資源の持続可能性を高めます。</p>	<p>55 吹上地域の水資源の確保として、亀原予備水源地の取水ポンプの整備を実施 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、水土里サークル活動の支援を実施</p>	<p>55 安定的な水資源の確保のため、整備した施設の運転管理を行います 引き続き水土里サークル活動を支援し、地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図ることで、土砂崩れや土の流失を防ぎ、河川の流れを安定化させ、地下水保全に取り組みます</p>

●「自然資源と産業・住環境を同時に守る」取り組みを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>56 日置市に生息するさまざまな生物資源の保全に努めます。</p>	<p>56 ウミガメ保護監視団体との意見交換を実施し、保護監視団体のネットワーク化を図るとともに、保護監視の方法の見直しを実施 保護監視員の新たな確保のため、広報ひおきで募集を実施（R5新規保護監視員1人） ・保護監視団体：20団体</p>	<p>56 引き続きウミガメ保護監視団体との意見交換やビーチクリーン団体との意見交換、鹿児島大学ウミガメ研究会の出前講座を実施し、ネットワークづくりを推進します ウミガメの卵の食害対策の検証・実施により生物資源の保全に努めます</p>
<p>57 農業環境や住環境を脅かす有害鳥獣への対策を強化します。</p>	<p>57 捕獲協議会で購入した捕獲わなを猟友会に貸し出し、民間ジビエ加工施設と連携した捕獲数の増加への取り組む実施 R4捕獲数1,800 R5.10末時点捕獲数1,715</p>	<p>57 猟友会の後継者確保のための狩猟免許の講習会等を広報誌で周知支援します ジビエ加工施設と連携して捕獲数の増加に努めます</p>

●「市民が自然資源に親しむ」場や機会をつくります。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
<p>58 小学校・中学校の生徒たちが自然環境のなかでのびのびと学ぶ遊ぶなど、自然環境に親しむ場をつくります。</p>	<p>58 江口浜海浜公園の利用について、申請をオンラインで行えるよう申請フォームを整備 森林整備ボランティアの協力を得て遠見番山の山頂付近の眺望改善を実施</p>	<p>58 江口浜海浜公園の利用について、県と協議し、包括的な利用促進を図ります 森林を活用したアドベンチャーツーリズムの検討を進めます</p>
<p>59 有機農業などの多様な生産者の取り組みを後押しします。</p>	<p>59 国際的な販路拡大や消費者の職への安心安全の意識に対応するため、様々なGAP（農業生産工程管理）承認や有機栽培のための有機JAS認証の取得を促進するとともに、IPM（総合的病害虫・雑草管理）の実践を推進 K-GAP:13団体、ASIAGAP:15団体 有機JAS:13組取得</p>	<p>59 お茶を中心とした有機栽培への転換の増加に伴い、ASIAGAP認証を継続し、生産体制の構築を図ります 輸出に向けた有機栽培やIPMを活用し、安全性の高い作物の生産を後押しします</p>

● 自然環境を守るため循環型社会に向けた取り組みを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の実施状況	令和6年度の実施計画
60 クリーンセンターでのリユース・リサイクルを進め、まだ使えるものが次の利用者に届く仕組みをつくりま す。	60 リユース品の常設展示による無償譲渡の通 年実施や無償譲渡会を開催。学校制服のリユ ース品の常設展示を行い、進学・進級シーズン に合わせた広報を実施 譲渡実績（R4：773品、R5：521品）	60 引き続き、リユース品の常設展示による無 償譲渡の通年実施や無償譲渡会を開催すると ともに、福祉団体等への無償譲渡による次の利 用者に届く新たなプラットフォームを検討します
61 フードロス削減に向けた取り組 みを推進します。	61 各種女性団体の実施するフードドライブ事 業に協力し、集約した食品の保管管理を実施 関係課や社会福祉協議会等と連携して必要 とする方々への食品の提供を実施	61 引き続き各種女性団体が実施するフード ドライブ事業への協力をを行い、フードロス削減を推 進します
62 ゼロカーボン社会への転換の 観点から暮らしに必要なエネルギー の調達と供給について地域での議 論を進めます。	62 脱炭素に関する理解促進のため、出前講 座やシンポジウム等を開催 「日置市2050脱炭素ビジョン」を策定 環境省の地域脱炭素先行地域の認定を受 け、市内エネルギー会社や金融機関、関係者と ともに脱炭素先行地域づくり事業を実施	62 引き続き、「日置市2050脱炭素ビジョン」 に基づき、ゼロカーボン社会に向けた取り組みを 進めます 関係者と協力しながら脱炭素先行地域づくり 事業を円滑に進めます

● 災害に強い地域づくりを行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の実施状況	令和6年度の実施計画
63 自主防災組織・消防団の活 動支援や避難所の充実、避難訓 練などを通じて、地域全体での防 災体制を強化します。	63 県のリーダー養成研修を活用して地域防災 リーダーを育成（R4:9人、R5:13人） 緊急出動時の走行性能や運転者の安全性及 びポンプ性能等を考慮し、経過年数に応じて車 両を更新	63 自主防災組織による住民参加型の防災訓 練や防災研修を関係機関と連携して実施します 引き続き消防ポンプ自動車、小型動力ポン プを経過年数に応じて更新します
64 防災地図（ハザードマップ） の見直しと配布・周知を強化しま す。	64 市内4地域でハザードマップ説明会を開催 するとともに、地区公民館や自治会、自主防災 組織の防災教室でマップの使用方法や見方につ いて出前講座を実施 ・開催実績 R4:22箇所 R5(10月現在):11箇所	64 継続して出前講座等においてハザードマップ の周知・普及を図ります 土砂災害、新水害、地震・津波、原子力災害 など、総合的にハザードマップを活用しながら防災 意識の普及・向上を図ります

● 市民と市役所の対話の場を増やします。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
65 すべてに市長が参加する原則で、自治会単位での草の根対話会を、全自治公民館で開催します。	65 市長と住民が対話を行う草の根対話ミーティングをすべての176自治会で実施 実績 令和4年度 72自治会 令和5年度 104自治会（見込）	65 市内の各種団体との草の根対話ミーティングを検討・実施します
66 各部門の市役所職員が市民の皆さんとの対話から制度や仕組みの創設・見直し・改廃を行うことを後押しします。	66 各関係団体との対話を行う機会を作るとともに、テーマごとに参加者と意見交換する「おしゃべりカフェ」を実施 おしゃべりカフェテーマ：オーブ、スポーツ、多文化共生、脱炭素、農林水産	66 引き続き、各関係団体との対話を行う機会をつくります

● 行政運営を時代に合わせ効果的に行います。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
67 ネーミングライツ、指定管理者制度、市有財産の利活用により公共施設の維持管理コストの最小化を目指した民間活用を推進します。	67 用途廃止した施設や未利用地の民間への売却を実施し、維持管理コストの削減を推進 公共施設が集積している伊集院及び吹上各エリアの公民連携サウンディング調査を実施し、老朽化問題等への課題解決に向けた検討を開始 4施設において、令和6年4月からのネーミングライツ導入を決定	67 伊集院エリアの公共施設の在り方やエリアマネジメントに向け、民間企業と継続して協議を進めます ネーミングライツの通年募集を行います
68 各部署・業務でのデジタル対応を推進します。	68 保育園入所手続きのオンライン化などデジタル技術の積極的な活用を推進（43業務） 日置市公式LINEに課題解決ツールを導入。 AIチャットボットによる正答率向上のための回答メンテナンスを定期的実施	68 DX推進に関する各課の課題等について意見集約を行い、DXの推進を図ります 電子回覧板アプリにおける先進事例等を調査し、課題等の検証を行いながら導入に向けた準備を進めます
69 部署をまたいだデータの共有により組織連携をスムーズにします。	69 マイナンバーの利用による庁内のデータ連携を行い、申請者の提出書類の見直しを実施 遠隔相談窓口システムの導入・検証	69 遠隔相談窓口システムの利用について、引き続き検証を行います 職員間チャットシステムの積極的な活用を推進し、データ共有等による組織連携を図ります
70 ICT技術の活用で職員の事務負担を軽減し、サービスを充実します。	70 市民向けのオンライン申請や庁内申請業務にLogoフォームを活用した電子化を推進 デジタル窓口支援（事前申請型の書かない窓口）システムを構築	70 デジタル窓口支援（事前申請型の書かない窓口）システムの実装と機能拡充に向けた検証を行います
71 市民と行政が直接つながる情報通信環境をつくり、地域の課題のスムーズな共有と解決を図り、公民連携を強化します。	71 公共施設がまとまっている伊集院エリア及び吹上エリアについて、公民連携による地域課題の解決を目的とした、「公民連携サウンディング型市場調査」を実施	71 通年で「市有財産活用サウンディング型市場調査」を実施するなど、引き続き、公民連携の推進を図ります
72 日置市の施策をSDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ展開します。	72 第2次総合計画後期基本計画において、すべての施策をSDGsに紐づけて取組を実施 小学校で「ひおき環境学習ブック」を活用して環境教育を実施	72 第2次総合計画後期基本計画の各施策において、SDGsの関連施策として計画的に実施します 引き続き、小学校における「ひおき環境学習ブック」を活用した環境教育を実施します

● 女性職員の活躍の場と子育て世代の育児参加を促進します。

ビジョン内容	令和4年度から令和5年度の取組状況	令和6年度の取組計画
73 男女ともに育休を取得しやすく復帰しやすい環境など、子育てしながら働きやすい環境を整え、女性登用を促進します。	73 育児休業の取得促進のため対象者及び所属長へ働きかけ（声掛け等）を実施するとともに、女性登用では、女性活躍の研修をはじめ、外部研修への派遣等を実施	73 引き続き育児休業について制度の理解を深める機会を作るとともに、育児休業の取得向上を目指します 女性職員の多様な職域への配置や外部研修への派遣を積極的に進め、女性活躍についての意識情勢に努めます